

千代崎中学校区 第1回拡大学校運営協議会 実施報告書
(兼 第3回学校運営協議会)

令和6年9月5日(月) 15:00

鈴鹿市立千代崎中学校 図書室

1 千代崎学校長あいさつ

- ・本日の拡大学校運営協議会で来年度にむけて今後の方向性を検討いたしました。来年度は各学校の委員全員に参加をお願いしたい。

千代崎中学校学校運営協議会委員長あいさつ

- ・熱中症、前回の台風のような気象異常の中で今後の子どもたちへの対応に知恵を出し合いながら取り組んでいきたい。

2 拡大学校運営協議会について

(案) 2011年4月1日に鈴鹿市内の全小中学校に設置された鈴鹿型コミュニティ・スクールの取り組みである「保護者や地域住民が学校運営に参画する」「教育課題について共に考え、知恵を出し合う」「学校ボランティアなど、学校教育活動への支援を行う」ことを基に協議を行い、それぞれの学校運営協議会、各種団体等が、千代崎中学校区の子どもの健やかな育成について協働できるような働きかけを行うこととして、年1回千代崎中学校区拡大学校運営協議会を開催する。

なお、対象の学校運営協議会は、千代崎中学校・玉垣小学校・愛宕小学校の各学校運営協議会とする。

※若松小学校学校運営協議会は、大木中学校区拡大学校運営協議会に参加している現状がある。

3 情報交換

(千代崎中学校)

- ・率先あいさつの取組で校内や学校周辺ではあいさつをする生徒が多くなってきた。来校者の方々からも同様のことをお伝えいただいている。
- ・暑さ対策に苦慮している。体育や部活動の大会でも暑さ指数を基準に対応している。終業式・始業式もリモートで行った。
- ・夏休み明けて多くの生徒は落ち着いて学校生活を送れている。

(玉垣小学校)

- ・昨年よりも元気にあいさつをする子どもが多い。

- ・見守り隊等の地域の協力もあり、安全安心して子どもたちが登校できているので本当に地域の協力には感謝をしている。
- ・熱中症のことでは暑さ指数で運動を中止したり、行間休みでの外での活動を控えることも多かった。

(愛宕小学校)

- ・地域に協力してもらいながら、あいさつ運動や登下校の見守りをしてもらっている。特に通学団がなく自由登校になっている学校としては、地域の見守り・協力は欠かせないものとなっている。
- ・今年の異常気象でプール指導も苦慮した。
- ・今学期は掃除の取組に力を入れている。

(運営委員長)

- ・今後の拡大学校運営協議会の取組の方向性としては、子どもの交通安全の取組で進めていってはどうだろうか。通学路にも危険なところや交通事故があったところもある。また、あいさつ運動では黄色のベストを着て対応している。

(副運営委員長)

- ・小学校では安全MAPを作成しているので、それを中学校にも共有していくことも大切である。子どもたちは横断歩道で止まってくれることが多い。車がスピードを出して危ない箇所もある。

4 CSコーディネーター講評

- ・初めての拡大学校運営協議会で今後の方向性は協議できたのはとても意義のあるものであった。小学校・中学校が同じ方向をむいて取り組んでいることはとても大切なことである。
- ・参考に他県他市の取組を数件紹介。

5 その他

○今後の予定

- ・第2回は令和7年9月に開催予定。

参照資料

拡大学校運営協議会の取組（案）

1. 年1回拡大学校運営協議会を開催し、情報交換を行うとともに千代崎中学校の子どもたちの健やかな育成について協議を行う。
2. 子どもたちの健やかな育成の取り組みを広める活動を行う。

（例1） あいさつ運動の取り組みを広める。

- ・朝、お子さんを家から送り出し、近所の子どもに大人の良き姿として、見返りを求めないあいさつをする。
- ⇒こういった取り組みをできる範囲で知り合い等に協力依頼をし、活動の輪を広める。

（例2） 子どもたちの交通安全についての取り組みを広める。

- ・教育施設の周辺については、いつも以上に安全運転をして、大人の良き姿として、子どもたちの命を大切にする行動を行う。
- ⇒こういった取り組みをできる範囲で知り合い等に協力依頼をし、活動の輪を広める。